

人間性心理学研究

第35巻 第1号 2017年

日本人間性心理学会

特集：人間性心理学会における倫理の課題

人間性心理学会における倫理の課題への取組—特集にあたって—	松本 剛	1
倫理と人間性心理学の歴史的展望—臨床実践と研究における挑戦と貢献—	村本昭司	9
人間性心理学会における倫理の課題—投稿倫理ガイドラインの作成—	田村隆一	19

研究論文

強制収容所体験前のフランクルにおけるロゴセラピーの形成 —シェラーの哲学的人間学とフランクルの青少年相談所に着目して—	荒金 誠	25
主体—対象の可変的境界としての象徴化 —Gendlinの機能的関係理論の批判的検討—	久羽 康	37
ワーク・エンゲイジメント形成の心理学的プロセス —漸進的使命感、職務体験に対する肯定的意味づけとの観点から—	山口文子	49
TAEが与える大学生の進路の捉え直しの過程について —質的研究による過程モデルの生成—	山下佳久	63
心理臨床場面における言葉にならない内的過程の治療的意義 —一枚のコラージュを4年間にわたり創ったクライアントとの面接過程—	小林純子	77
交差と創造性—新たな理解を生み出す思考方法—	岡村心平	89

発想の源流

源泉 <i>Urquelle</i> を探して	西平 直	101
-------------------------	------	-----

書 評

新田泰生・足立智昭 編 『心理職の組織への関わり方—産業心理臨床モデルの構築に向けて—』	土井晶子	109
諸富祥彦・末武康弘・得丸智子(さと子)・村里忠之 編著 『「主観性を科学化する」質的研究法入門—TAEを中心に—』	村久保雅孝	113

学会報告

会務報告／投稿規程等		117
------------	--	-----

編集後記

		127
--	--	-----
